

ヨコハマ 議会 だより

令和8年第2回市会定例会号
発行 令和8(2026)年8月

横浜市の議会
横浜市議会事務局

〒231-0005横浜市中区本町6-50-10

TEL 045-671-3040

FAX 045-681-7388

<https://www.city.yokohama.lg.jp/shikai/>



一般質問(5月22日)

令和8年第2回市会定例会が、5月15日から6月5日まで開催されました。(2面及び3面に、一般質問の一部を掲載しています)

市が原案を策定

原案

原案の策定までには、パブリックコメントに加え、市会でも本会議や常任委員会で質疑を行ってきました。



議案として
市会に提出

5月20日

質疑
(本会議)

第2回市会定例会

基本計画特別委員会

5月26日 議案審査



市民生活が
どう変わる?

5月28日～6月2日 分科会



取組の
進め方は
適切か?

6月4日

委員会採決

6月5日

討論・議決
(本会議)

附帯意見付きで可決

中期計画の方向性や各政策分野の目指す姿などに関して、質疑等が行われました。

議長就任の御挨拶(5月15日 本会議において選任)

このたび第56代議長に就任し、身の引き締まる思いであります。

社会の変化が速く、先を見通しにくい時代だからこそ、皆様の声を大切にしながら、持続可能で誇りある横浜を目指してまいります。

各会派や議員の声に耳を傾け、公正で円滑な議会運営に努め、市民の期待に応えられる市会を実現してまいります。



第56代横浜市長
渡邊 忠則

基本計画特別委員会 横山委員長から一言

本委員会では、市の向こう4年間分の羅針盤となる中期計画原案について、市民生活に本当に役立つ内容になっているかはもちろん、実現性や優先順位、その効果などの観点から幅広く議論できました。

現時点での瞬間風速的な課題についての議論ではなく、市民の声も踏まえ4年間分の課題を確認し必要な意見を伝えるなど、計画に基づいたより効果的な施策の推進につながる議論になりました。

今回可決された中期計画が上位計画となり、市の事業や市民の皆様への身近な行政サービスが実施されていきます。



花上 喜代志 横山 勇太郎 望月 康弘
副委員長 委員長 副委員長

第2回 市会定例会概要 | 5/15・6/5 | 会期22日間 |

主な流れ

5月15日 本会議(第1日)

- 役員改選・議長の選挙・議案の上程・議決

5月18日～19日 常任委員会

- 事業概要

5月20日 本会議(第2日)

- 議案の上程・質疑・常任委員会への付託
- 基本計画特別委員会の設置・付託

5月20日 基本計画特別委員会

- 運営方法等協議

5月22日 本会議(第3日)

- 一般質問(→2、3面へ)

5月26日 基本計画特別委員会

- 議案の審査

5月28日～6月2日 常任委員会・基本計画特別委員会分科会

- 議案等の審査
- 次期中期計画議案の審査

6月4日 基本計画特別委員会

- 採決

6月5日 本会議(第4日)

- 議案の議決

市会で横浜の未来をつくる

基本計画特別委員会の開催

2026年度からの市の施策の方向性を定める「横浜市中期計画2026～2029」を審査するため、全議員から成る「基本計画特別委員会」が設置、開催されました。

基本計画特別委員会の役割

市が中期計画の原案を提出した後、市会では全議員参加の委員会と、所管事項に応じた8つの分科会に分かれての審査をそれぞれ行います。

委員会や分科会での積極的な議論を通じて、計画の質を高め、今後の施策に生かされるようチェックする役割を担っています。

5月26日には議案の審査が行われました

中期計画の方向性や、防犯、防災、子育て支援、教育環境の充実、経済・観光、まちづくりなど各政策分野に関する質疑から、政策の土台となる行財政運営まで、計画の原案について質疑が行われ、市長等から答弁がありました。

質疑の様子は市会ウェブサイトから御覧ください。

市会インターネット中継▶



中期計画2026～2029とは

2040年頃の横浜のありたい姿として、都市像『明日をひらく都市』を継承し、現状の課題解決に取り組みながら、『市民生活の安心・安全』と『横浜の持続的な成長・発展』を目指す、市の新たな中期計画です。

